

# 1. 自然環境評価の概要

## 1.1 神奈川県の中の平塚市

平塚市は、神奈川県のおお中央、相模平野の南部に位置し、面積は約 68 km<sup>2</sup>です。背後には丹沢、大山山麓が控え、西方には富士、箱根連山を遠望でき、四季を通して温和な気候に恵まれたまちです。

市の南部は相模湾に面しており、約 4.8km の海岸線から北西に広がる扇形をしています。東に流れる相模川と北から南西へ下る金目川水系の下流域には発達した平野が広がり、西部には丘陵地域が形成されています。

江戸時代には東海道五十三次の宿場町として栄え、明治年間の 1887 年に鉄道（現在の JR 東海道線）が開通すると、市街地は平塚駅を中心に発展してきました。



### ◀ 神奈川県の中の平塚市

平塚市は神奈川県のおお中央南部に位置します。

### ▼ 平塚市の全景

市は海岸線から北西に広がる扇形をしています。海岸線より広がる平地が市街化されています。（2004 年 12 月 30 日撮影）

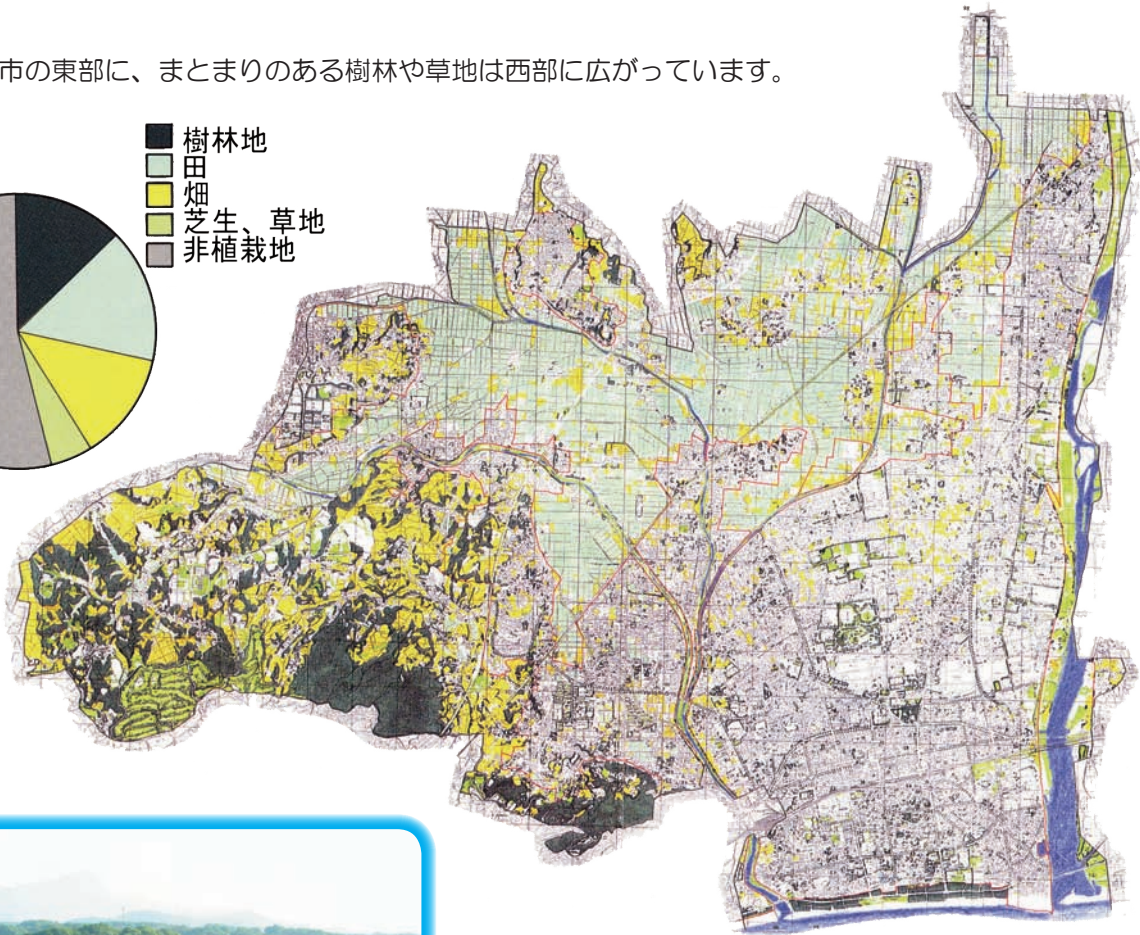
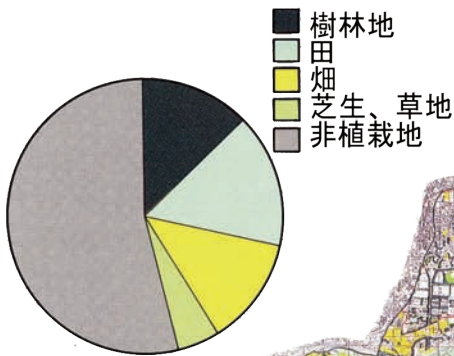


## 1.2 平塚市の緑の現況

平塚市の平野部は、市街化が進んでおり、まとまりのある緑はおもに西部丘陵地域に残されています。

「平塚市自然環境評価書」では、この西部丘陵地域の中心となる土屋、吉沢地区約 12k m<sup>2</sup>を調査対象地域としています。

市街地は市の東部に、まとまりのある樹林や草地は西部に広がっています。



■ 平塚市の緑地の分布状況

「平塚市緑の基本計画」より



▲ 平塚市の西部にみられる緑地

雑木林が広がっています。

(土屋 2004年5月11日撮影)

調査地域 ▶

まとまりのある緑が残る、西部丘陵地域を自然環境評価のための調査地域としました。



### 1.3 調査地域の概況

調査地域の南東部および西部にまとまりのある緑をみることができます。

地域内でもっとも広い南東部の緑地は鷹取山へと続きます。

西部のモザイク状に広がる緑地は、谷戸や畑地、草草が混在する、変化に富んだ環境です。



 調査地域  
(2001年4月撮影)

 調査地域の概況

